



## 28団体が参加。道路河川環境美化コンクール



現地審査の様子

地域の環境美化による憩いの場づくりや、道路・河川の機能向上を目的とした、市主催「平成21年度道路河川環境美化コンクール」が行われ、28団体の応募の中から、本年度は、波野の「高柳和みの花みち会」（大塚國勝代表）が、最優秀賞に輝きました。審査は書類と現地視察で行われ、審査員には宮川副市長や関係課長をはじめ一般からも6人が選ばれ審査にあたりました。一般審査員の阿蘇高校生の中村有里さん、尾上裕哉さん、阿蘇清峰高校生の江藤崇之さん、渡邊茜さんからは、「阿蘇市内であつても普段、訪ねたことがない地域の魅力に触れられた」、「植物を生きものの気持ちになつて育てることが大切だと感じた」との意見が出て、環境に対する意識の向上も図られたようでした。

なお、表彰式は、11月25日、阿蘇市役所で行われ、冒頭市長が「まずは皆さんの取り組みに心より感謝します」とお礼を述べ、28団体に表彰状と賞金を贈りました。

### 【結果】

#### ◆最優秀賞

- ・高柳和みの花みち会

#### ◆優秀賞

- ・一里山四ツ江川ホタルの会

#### ◆佳作

- ・おごもり花公園

#### ◆佳作

- ・西三区老人会

- ・内牧花原川を守る会

- ・うぶさん会

- ・跡ヶ瀬野菊の会

- ・いこい通り環境美化ボランティア団体



▶ 表彰を受ける  
大塚國勝代表

### ■標語入賞作品

ポイ捨て、温暖化、花が減るを考え…

大自然 増えるか減るかは 人で決まる (鶴林真吏さん、1年)

見えない場所でのゴミ捨てを考えて…

『捨てないで』今を生きる 花のこえ (岩下竜太郎くん、2年)

ゴミのポイ捨てを考えて…

取り戻そう きれいな景色 きれいな心 (加藤葵さん、3年)



▲ 1.2km花が彩る「高柳和みの花みち」

### 【高柳和みの花みち会の活動内容】

道路沿い（面積1.2km×1m）に年間を通し、季節の花々を植栽。花の種の収穫もできるだけ行い、種から苗を作り植栽しています。管理は各戸に区間を割り当て行うほか、定期的にも月一回、美化作業をしています。さらに、子どもたちにも環境美化への意識を持ってもらおうと、同会が主催し、標語コンクールを実施。波野中学校の協力で生徒全員が参加したよい取り組みとなっています。選ばれた標語3点は標柱にし、同会が管理する花壇へ立て、心と環境の美しさを目指しています。